

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 13 日 (2020.8.13)

【公表番号】特表 2019-523600 (P2019-523600A)

【公表日】令和 1 年 8 月 22 日 (2019.8.22)

【年通号数】公開・登録公報 2019-034

【出願番号】特願 2019-504133 (P2019-504133)

【国際特許分類】

H 0 4 N 21/2362 (2011.01)

H 0 4 N 21/84 (2011.01)

H 0 4 N 21/434 (2011.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 21/2362

H 0 4 N 21/84

H 0 4 N 21/434

G 0 6 F 13/00 5 5 0 P

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 1 日 (2020.7.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

メディアデータを検索する方法であって、前記方法は、

メディアデータの表現のセグメントに利用可能なセグメントチャンクの数を示す属性を含むマニフェストファイルを受信することと、前記属性は、メディアプレゼンテーション記述 (M P D) の SegmentTimeline 要素の S 要素に含まれ、前記セグメントは、ユニークユニフォームリソースロケータ (U R L) を有する独立して検索可能なメディアファイルを備える、

前記セグメントに利用可能なチャンクの前記数を示す前記データを使用して、前記チャンクのうちの 1 つのための識別子を決定することと、

サーバデバイスに、前記チャンクのうちの前記 1 つのための前記識別子を指定する要求を送ることと、

を備える、方法。

【請求項 2】

セグメントチャンクの前記数を示す前記属性は、@ k 属性である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記チャンクのうちの前記 1 つのための前記識別子を決定することは、前記セグメントチャンクのための \$Number\$ テンプレートに従って前記識別子を決定することを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記チャンクのうちの前記 1 つのための前記識別子を決定することは、階層型アドレッシング方式に従って前記識別子を決定することを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記階層型アドレッシング方式は、前記識別子のための第 1 の部分と第 2 の部分とを指定する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 1 の部分は、前記セグメントのための識別番号、または、前記セグメントのためのタイミング情報を指定する、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 の部分は、前記セグメントのためのタイミング情報を指定し、前記タイミング情報は、前記セグメントがプレイされ始めるべき再生時間を示す、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記第 2 の部分は、前記チャンクのうちの前記 1 つの通常の識別子を示す、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 9】

前記要求を送ることは、HTTP GET 要求または HTTP 部分的 GET 要求のうちの 1 つを送ることを備える、または、セグメントチャンクは、それぞれの URL を有する複数のセグメントを備えるセグメントシーケンスとして提供され、前記方法は、URL テンプレートに従って前記 URL を決定することをさらに備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記マニフェストファイルは、前記セグメントチャンクのための正確なセグメント持続時間を表現しない、または、

前記識別子を決定することは、前記セグメントチャンクのための持続時間を決定することなく、前記識別子を決定することを備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記セグメントのための開始時間、前記セグメントの持続時間、およびセグメントチャンクの前記数を示す前記マニフェストファイルの前記データを使用して、前記セグメントチャンクのためのセグメント利用可能開始時間を決定すること、または、

前記マニフェストファイルから前記セグメントのための持続時間値を決定することと、前記セグメントチャンクのための持続時間値を決定するために、前記持続時間値をセグメントチャンクの前記数で除算することと、

をさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

メディアデータを送る方法であって、前記方法は、

メディアデータの表現のセグメントに利用可能なセグメントチャンクの数を示す属性を含むマニフェストファイルを生成することと、前記属性は、メディアプレゼンテーション記述 (MPD) の SegmentTimeline 要素の S 要素に含まれ、前記セグメントは、ユニークユニフォームリソースロケータ (URL) を有する独立して検索可能なメディアファイルを備える、

クライアントデバイスに前記マニフェストファイルを送ることと、

前記クライアントデバイスから、前記チャンクのうちの 1 つのための識別子を指定する要求を受信することと、

前記要求に回答して、前記クライアントデバイスに、前記識別子によって示される前記チャンクのうちの前記要求された 1 つを送ることと、

を備える、方法。

【請求項 13】

実行されると、プロセッサに、請求項 1 乃至 11 または請求項 13 のうちのいずれか 1 つの方法を実行させる命令が記憶されたコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 14】

メディアデータを検索するためのデバイスであって、前記デバイスは、回路に実装された1つまたは複数のプロセッサを備え、前記1つまたは複数のプロセッサは、

メディアデータの表現のセグメントに利用可能なセグメントチャンクの数を示す属性を含むマニフェストファイルを受信することと、前記属性は、メディアプレゼンテーション記述(MPD)のSegmentTimeline要素のS要素に含まれ、前記セグメントは、ユニークユニフォームリソースロケータ(URL)を有する独立して検索可能なメディアファイルを備える、

前記セグメントに利用可能なチャンクの前記数を示す前記データを使用して、前記チャンクのうちの1つのための識別子を決定することと、

サーバデバイスに、前記チャンクのうちの前記1つのための前記識別子を指定する要求を送ることと、

を行うように構成された、デバイス。

【請求項15】

メディアデータを送るためのサーバデバイスであって、前記サーバデバイスは、

マニフェストファイルと前記メディアデータとを記憶するように構成されたメモリと、回路に実装された1つまたは複数のプロセッサと、を備え、

前記1つまたは複数のプロセッサは、

前記メディアデータの表現のセグメントに利用可能なセグメントチャンクの数を示す属性を含むように前記マニフェストファイルを生成することと、前記属性は、メディアプレゼンテーション記述(MPD)のSegmentTimeline要素のS要素に含まれ、前記セグメントは、ユニークユニフォームリソースロケータ(URL)を有する独立して検索可能なメディアファイルを備える、

クライアントデバイスに前記マニフェストファイルを送ることと、

前記クライアントデバイスから、前記チャンクのうちの1つのための識別子を指定する要求を受信することと、

前記要求に応答して、前記クライアントデバイスに、前記識別子によって示される前記チャンクのうちの前記要求された1つを送ることと、

を行うように構成された、

サーバデバイス。